

SAIAI CLUB SAITAMA

彩愛クラブ埼玉



彩の国

発行人 ▶ 内田まさ子

発行所 ▶ 公益財団法人 埼玉県老人クラブ連合会 〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65

tel 048-822-7330 fax 048-822-7377

印刷 ▶ 関東図書株式会社 〒336-0021 さいたま市南区別所 3-1-10 tel 048-862-2901 fax 048-862-2908

埼玉県老人クラブ連合会

検索



令和6年度第3回理事会開催

令和6年9月20日(金)彩の国すこやかプラザにおいて、第3回理事会が開催されました。出席者は理事14名、監事1名で概要は次のとおりです。
議事録署名人

会長 内田まさ子
監事 山路 孝

◆第1号議案 埼玉県老人クラブ連合会基金造成について

県老連の令和6年度の新規事業である「基金造成検討委員会」を8月に発足しましたが、準備会などを含めた上半期までの委員会の審議経過や、基金造成の主旨などについて協議しました。理事からは様々な質問や意見がありました。が、出席理事の多数が賛成し原案のとおり可決しました。

◆第2号議案 会員増強の手引きを活用「仲間をふやそうプラン」年間1単位クラブ純増2名以上の推進について

会員増強にあたり、玉水副会長、小林副会長、矢部副会長から地元での取り組み報告をいただき、各地区協議会の場でも積極的な運動の展開をお願いしました。

◆第3号議案 埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会のオープニング講演について

◆第4号議案 埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会のアトラクションについて

令和7年2月に開催する大会のオープニング・講演講師・アトラクション出演者などについて協議しました。アトラクションでは、県老連女性委員会、さいたま市老連、越谷市老連の3者が出演することが承認されました。

◆第5号議案 県老連会員増強PR用DVDの作成について

現在、制作中である会員増強PR用DVDの内容について協議し、理事からいただいた意見等を反映し、より良い内容にしていくこととしました。

◆第6号議案 令和7年皇室カレンダールの斡旋について

原案のとおり承認
その他

地区	地区協議会期日と開催地
東部地区	令和7.2.26 (春日部市)
西部地区	令和7.2.7 (狭山市)
南部地区	令和7.2.6 (浦和区)
北部地区	令和7.2.12 (深谷市)

全老連に送金いたしました。

事務局 石山 英雄

- ①第2回地区連絡協議会の開催日程が別表のとおり決まりました。
- ②令和6年度能登半島地震災害救援拠金の結果
合計667,835円
皆さまから多額の拠金をいただきありがとうございます。全額を、

新広報委員就任挨拶

矢部 利夫



令和6年度11月より、広報委員会委員を拝命致しました。

もとより、広報誌編集・編集のスキルの持ち合わせも無く且つ文才欠けるのか？ 正直甚だ心もとない想いでおります。広報委員会の先輩諸氏には途中入会のご素人に温情を賜り、ご指導のほどお願い致します。

今回、かなりの紙面を頂きましたので、私の老人クラブ歴等を披露させて頂きます。思い起こしますと11年前に地域(地元)の民生児童委員に任命頂いたと同時に地元の「一元三和楽会」に入会しました。入会動機は民生委員協議会で「高齢者福祉部会」に配属され、どうしたものかと思案した結論が、地元の老人クラブに入れば皆さまと顔なじみになれるし、情報も得られると思ったからです。ところが以後思わぬ展開が！単体会入会「即」副会長に翌年会長に、同時に地区老協の副会長から会長にこのパターンが連鎖し、浦和区老連、さいたま市老連と続いて今に至りま

した。自分的にもまさかまさかの展開の10年でした。

単会では、10年間継続実施(会長として率先励行)している二つの活動があります。まずは小学校集団登校の見守り活動、そしてもう一つは単会員を主体とした早朝のラジオ体操です。

自治会集会所前の小公園(200坪)で毎朝、会員40名程が参加し実施、簡易的に安否確認を行えると共に単会の活動のショーウィンドウ的役割を果たしています。毎年新たに数名の方が見聞きしたと参入されてきます。網を張っているわけではありませんが、加入促進の大チャンスです。ラジオ体操がご縁で10年間で20名以上の会員を得ることができました。

また、「一元三和楽会」は皆様に先駆けて令和3年度から「会員増強運動」を展開し、令和3年11名増・4年7名増・5年2名増と3年間で20名の増強を果たし、現在80名の会員を有して活動しています。会員増強に近道はありません、地元根ざした地道な活動が不可欠です。平凡な言い回しになりますが「継続こそ最大の力なり」です。

令和6年度第4回理事会

令和6年12月13日（金）東天紅JACK大宮店において、第4回理事会を開催しました。出席者は理事14名、監事 2名で概要は次のとおりです。

議事録署名人
会長 内田まさ子

監事 清水絹代、山路 孝

◆第1号議案 「基金」運動への協力のご依頼（案）について

今年度から設置された基金造成検討委員会で、計4回にわたり協議されてきた「基金」運動への協力のご依頼（案）については、12月3日に開かれた「市町村埼玉県老人クラブ連合会会長・女性代表者・事務担当者合同研修会」にて原案の説明をしました。この席で、参加者から様々なご意見をいただきましたので、意見を取り入れた原案の修正をした上で、改めて令和7年2月に開催される地区連絡協議会において説明を行うこととなりました。これに伴い、臨時の理事会を令和7年1月28日に開催

し、修正原案の審議を行うこととなりました。

◆第2号議案 埼玉県老人クラブ連合会財政再建委員会設置要綱について

基金造成検討委員会での協議の中で、これからの県老連には事業や組織等の見直しが必要といった提案がなされ、このため新たな委員会を設置することが承認されました。

- 委員会名称と委員会での協議事項は下記の通りです。
- 1 名称 財政再建委員会
 - 2 検討事項

(1) 事業の精査と組織の再構築

(2) 分担金の見直し

(3) 会員増強運動の推進

なお、この委員会は、令和7年1月に開催する予定です。

◆第3号議案 平成6年度県老連会長表彰被表彰者等の選考について

育成功労表彰では90名の個人と、優良老人クラブ表彰では2団体が選考の結果受賞されることとなり、また年間1単位クラブ純増2名クラブ達成クラブは、253団体が受賞されることとなりました。表彰式は、令和6年度埼玉県老人クラブ大会において実施されます。

◆第4号議案 令和6年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会について

令和7年2月21日に開催される標記大会（彩の国さいたま芸術劇場）に関し、アトラクション出演団体さいたま市浦和区老連から「コーラス」とさいたま市緑区老連から「南京玉すだれ」の2団体が追加されることとなりました。

◆第5号議案 平成7年度事業骨子（案）について

令和7年度の事業の骨子が示されました。新規事業としては、「基金運動に対する県老連サポート体制づくり」や「全国健康福祉祭（ねんりんピック彩の国さいたま

2026）の開催準備などが提案されています。具体的には3月の理事会で審議させていただくこととなりました。

そして、理事会の閉会后に「忘年会」が開催され、理事のほか、評議員や各委員会委員も参加し、一年を振り返るとともに、楽しい歓談が行われました。



2024年8月8日 (熊谷文化公園陸上競技場)

彩の国プラチナフェスティバル 令和6年度シルバースポーツ大会成績結果

- ゲートボールの部

優勝	岡部	(深谷市)	2勝0敗	得失点差22
準優勝	川口市トライ	(川口市)	2勝0敗	得失点差21
第三位	手子林	(羽生市)	2勝0敗	得失点差14

- グラウンド・ゴルフの部

団体戦				
優勝	宮原	(さいたま市北区)		146点
準優勝	羽生須影Bチーム	(羽生市)		150点
第三位	深谷B	(深谷市)		150点

- | | | | | |
|-----|-------|-----------|--|-----|
| 個人戦 | | | | |
| 優勝 | 清水 廣一 | (さいたま市北区) | | 24点 |
| 準優勝 | 塚本千代松 | (深谷市) | | 29点 |
| 第三位 | 竹内 和夫 | (加須市加須地域) | | 32点 |

- ペタングの部

優勝	白久寿クラブ	(秩父市荒川支部)
準優勝	セルクル	(連盟推薦)
第三位	三貴会	(連盟推薦)
第三位	荒川B	(秩父市荒川支部)

※決勝トーナメント出場チームは予選リーグの3ブロックの1位・2位
 A 三貴会(2勝1分)・荒川A(2勝1敗)
 B 白久寿クラブ(2勝0敗)・荒川B(1勝1敗)
 C セルクル(3勝0敗)・中寺尾ペタング愛好会(2勝1敗)
 この6チームで抽選を行い、トーナメントに進んだ。

- ソフトテニスの部

優勝	庄山 勝義・小沼 珠江	(久喜市)	5勝0敗
準優勝	田中 良治・大塚 千枝	(久喜市)	4勝1敗
第三位	代 勝己・平井 方恵	(熊谷市)	3勝1敗
第三位	松村 良正・松村 和子	(上尾市)	3勝1敗

- ワナゲの部

優勝	下高柳福寿会	(加須市加須地域)	2994点
準優勝	深谷市A	(深谷市)	2284点
第三位	江南A	(熊谷市江南支部)	1950点

- マグダーツの部

優勝	上福岡5・6丁目豊和会	(ふじみ野市)	2969点
準優勝	深谷A	(深谷市)	2957点
第三位	種足D	(加須市騎西地域)	2908点

高年齢者がスポーツを通じて心身の健康保持を図り、会員の交流・親睦・生きがい等の増進を目的とし、埼玉県老連は標記大会を令和6年8月8日(木)、熊谷スポーツ文化公園に於いて開催した。

開催当日の天候は、曇り・最高気温33・3度。高温で名高い埼玉県熊谷に於いて、猛暑のこの時

また県老連は、参加会員の競技中の安全を確保するため、次の対策を講じ、司会者から説明して会

期にこの気候は、天も大会を支援してくれたようです。なお、本大会の競技種目は次の通りです。

- ①ゲートボール
- ②グラウンド・ゴルフ
- ③ペタング
- ④ソフトテニス
- ⑤ワナゲ
- ⑥マグダーツ



員に協力を求めた。

- ・コロナウイルス対策・検温・消毒・マスク着用
- ・熱中症対策・水分・塩分補給、屋外競技はゲーム及び時間短縮等

◆開会式次第

- | | | | | | |
|-----|--------------|-------------|-------------|--------------|--|
| 開会式 | 開会宣言 | 来賓祝辞 | 来賓紹介 | 主管団体及び役員等の紹介 | ◆競技 |
| | 埼玉県副会長 藤野銀三 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 本大会は、約10000人の参加を得て、6種目の競技を行った。また、競技種目毎に優勝・準優勝・第三位の選手に表彰状とメダルを授与し、表彰した。 |
| | 埼玉県副知事 内田まさ子 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | |
| | 埼玉県副知事 内田まさ子 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | |
| | 埼玉県副知事 内田まさ子 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | |
| | 埼玉県副知事 内田まさ子 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | 埼玉県副知事 山崎達也 | |

令和6年度 シルバースポーツ大会



ゲートボールの部

◆参加チーム 18チーム。それを3チームづつ6組に分けて試合（1ゲーム 30分間）を行う。

◆試合

①1チーム（5名〜8名）が赤い球と白い球を交互に打ち、個人の技とチームプレイを駆使して、得点を挙げる頭脳戦が繰り広げられる緊迫した競技である。

②2試合の勝数と得点と失点の差で決まる。



川越市 小林 松十郎



第3位 手子林（羽生市）



準優勝 川口市トライ（川口市）



優勝 岡部（深谷市）

グラウンド・ゴルフの部

◆高齢者の屋外スポーツの内、人気があり、出場者が多いグラウンド・ゴルフ。競技当日は気温33度、曇りのち晴れ。参加者は256名。

◆開会挨拶

野川県グラウンド・ゴルフ協会会長より次の開会挨拶があった。「本グラウンド・ゴルフでは、熱中症を回避するためルールを変更する。」

・競技は2ゲーム・16ホール（通常は3ゲーム・24ホール）とし、1ゲーム終了後に30分間の休憩をとる。

・競技前に飲む一杯の水は、熱中症を回避できる。」

◆競技

コースは陸上競技場内の芝コース、参加者は256名であった。競技は、2ゲーム・16ホールの団体戦・個人戦で、最小打数を競います。

参加者は、良く整備された芝コースに於いて、日頃の鍛錬を競い合いました。

◆表彰式

団体戦・個人戦の優勝・準優勝・第三位の選手に対し、矢部県老連副会長より表彰状を授与しました。



個人戦 優勝者



団体戦 優勝者

越谷市 北山 隆司

ペタンクの部

◆参加 12チーム
◆参加者 37名

◆東第4多目的広場は、青い木々に囲まれた静かな会場です。真夏のまばゆいばかりの日差しの中、参加者を待っていました。

関根県老連副会長（ペタンク担当理事）の挨拶で一気に大会ムードとなりました。

◆井上大会会長から競技についての諸注意、審判員や救護員等の紹介があり、各チームに分かれて一斉に競技が開始されました。

連日、猛暑が続く今夏の大会は暑さ対策として、会場には大型ミスト扇風機2台やカラフルなパラ



ソルが用意され、また氷などの配布もあり、大会参加者への配慮が感じられました。午後には東第4多目的広場の外の気温が37℃を超えていたそうです。

◆競技中の選手の皆さんは暑さもなんのそのと、平常心を保って黙々と競技に集中していました。

◆井上会長も、定期的に水分補給をするよう声掛けをしていました。あるグループからは「日頃から外での競技には慣れていきます。暑さ！寒さ！どんな気温の変化にも耐えられるよう体力を鍛えています。」とお聞きし、毎日の積み重ねが健康づくりに役立っていると納得させられました。

戸田市 石川みよ子

ソフトテニスの部

◆試合会場 くまがやドーム
◆参加ペア 25組 参加者 48名
◆実行委員長 井上 良江
◆実行副委員長 北 正三

◆試合方法

初めに8コートに分かれてコートの代表を決める予選があります。各コートの第1位が次の決勝トーナメント戦に進めます。それを勝ち進んだペアが優勝者となります。大会への意気込みを井上良江委員長が次のように語られました。

「この大会は楽しんでいただけるとの事が一番だと思っています。いつまでも仲良く元気に続くように願っています。」

◆感想

8コートのテニス会場では、暑さの中選手の皆さんは真黒に日焼けした肌に汗を流し、各コートからポーンポーンと、心地良い音を響かせながら白球を追っていました。

さいたま市 納 美恵子



優勝 庄山勝義・小沼珠江ペア（久喜市）

ワナゲの部

◆試合会場

熊谷陸上競技場 雨天練習場

◆参加者 72チーム（3人1組）

216名参加

◆実行委員長 西尾 和久

◆競技について

当日の雨天練習場は、室内とはいえ、非常に蒸し暑く、会場の窓を全開し、大型扇風機をフル稼働しての競技となった。

開会挨拶と競技説明が、西尾実行委員長からあった。

・暑さ対策として、本年度は試合数を1試合減じて、午前中1試合、午後1試合の計2試合の合計得点で順位を競う。

◆競技の状況

・12コートに分かれ、1コート6チームが順番で競技開始。

・輪の持ち方は、水平に構えたり、縦に構えたりで、短時間で投輪する選手、時間をかけ、考えながら投輪する選手等千差万別であった。

・パーフェクトが出る度に歓声と拍手で会場が盛り上がった。

今回は、8名がパーフェクト賞を受賞（一人で複数回達成者あり）。

◆入賞者

午後2時半頃から、西尾委員長の司会で表彰式を行い、中島きく江県老連副会長から、表彰状が授与された。

春日部市 今村 純雄



第1位 下高柳福寿会（加須市）



マブダーツの部

◆参加チーム数 29チーム

（1チーム113人編成）

◆試合方法

①1人が連続して6本の矢を投げる。

②1試合は、1人が3セット行い、3人の合計点数の高い方が勝ちとする。

③参加チームを、A、B、C、Dの4ブロックに分けて実施。

川越市 小林 松十郎



第3位 種足D
（加須市騎西地域）



準優勝 深谷A
（深谷市）



優勝 上福岡5・6丁目豊和会
（ふじみ野市）

134号
特集

第33回 地域文化伝承館

令和6年10月19日～21日の3日間にかけて、鳥取県米子市の米子コンベンションセンターにおいて「第33回地域文化伝承館」が開催されました。地域文化伝承館は、厚生労働省、鳥取県、長寿社会開発センターの主催により、全国老人クラブ連合会と鳥取県老人クラブ連合会が主管団体として開催されました。

埼玉県でも、令和8年10月31日～11月2日にかけて開催することが決定しています。

「地域文化伝承館」は、高齢者が長年培ってきた豊かな経験・知識・技術を活かして取り組んでいる様々な地域文化・生活文化の活動を、その実演・展示を通して披露し、各世代との交流を図るイベントです。

開館式では、主管団体である全国老連の村木厚子会長による主管者挨拶があり、次いで鳥取県老連の岡村 裕会長が高らかに開会宣言をし、幕が開きました。

イベントは大きく「出展団体ブース」と「ステージ発表」の2つに分かれていましたが、両者が一つの会場の中で開催されることで、一体感のあるイベントになっていました。「出展団体ブース」「ステージ発表」とともに鳥取県内の市町村老連や単位クラブの方々で構成され、54団体が出演されていました。



村木厚子 全老連会長による挨拶

主な出展団体ブース

出展団体ブースは、市町村老連や単位クラブの方々の20団体が展示し、それぞれの連合会の特色を示す展示や紹介コーナーのほか、体験コーナーも随所に設置されていました。



左奥にステージ、手前に出展団体ブースがある



鳥取県老連も独自のプログラム（認知症予防プログラム）を出展



ステンシルアートの体験コーナー（湯梨浜町老連）



パネルを使った活動紹介（日吉津村老連）

鳥取県にて開催される！

令和8年度は、
埼玉県で
開催

主なステージ発表

ステージ発表は、34団体が披露し、コーラスやフラダンスといった華やかな舞台のほか、人形浄瑠璃、獅子舞といった地元の伝統芸能のほか、エレキギターの演奏などもあり、賑やかな舞台が3日間にわたり繰り広げられました。



コーラスで鳥取県北栄町の名産のスイカを紹介する



新舞踊を披露する小鹿ふるさと会（三朝町）の会員とその応援団



鳥取県智頭町老連による人形浄瑠璃



谷頭町からはエレキギターによるバンド演奏

企画運営委員会 水野 彰委員長へのインタビュー

「第33回地域文化伝承館」運営の中心を担っていた水野企画運営委員長にお話を伺いました。

「今回の地域文化伝承館は、出展・ステージ発表・おもてなしを一体的に運営するよう心掛けました。また、来館した多くの方が楽しめるよう、出展団体の約半数に体験コーナーや女性委員会の皆さんによる「おもてなしコーナー」を設置しました。評判が良かったので安心しました。」とおっしゃっていました。



鳥取県老連女性委員会によるおもてなしコーナー

令和7年度以降の
地域文化伝承館の開催予定

○令和7年度(岐阜県) 令和7年10月18日(土)～21日(火)
○令和8年度(埼玉県) 令和8年10月31日(土)～11月2日(月)

令和6年度市区町村老人クラブ連合会 会長・女性代表・事務担当者 合同研修会

令和6年12月3日、秋晴れのもと、彩の国さいたま芸術劇場小ホールにて、多数の皆さんの参加で開催されました。

◆開会のことば

県老連副会長 玉水きみ子氏

◆主催者の挨拶
県老連会長 長 内田まさ子氏

◆オープニング
県老連女性委員会によるコーラス
○曲目「いい日旅立ち」「川の流れるように」



【講演】

「これからの老人クラブのあり方」

県老連主幹 椎名久美子氏

令和元年からの3年間位、コロナ禍の影響で老人クラブ入会者数が激減しました。

埼玉県は今後20年間における85歳以上人口が全国トップスピードで増加することが見込まれていきます。まだまだ入会されていない高齢者が沢山います。まずは仲間を誘うことから始めましょう。

○「仲間をふやそうプラン」、「会員増強の手引き」を参照。

○「老人クラブリーダー必携」より

1. 老人クラブ運営指針について
2. 会員の資格・組織の範囲について
3. 新規会員への呼びかけについて
4. 老人クラブ包括ケアシステムについて等

○「組織活動は長寿の秘訣」等について講演がありました。
※各項目に納得し、理解を深めることができました。

【事務連絡】

「埼玉県老連基金へのご協力について」

県老連副会長 矢部利夫氏

1. 埼玉県老人クラブ連合会の収入・支出について
2. 収支構造の変化について
3. 基金とは何かについて
4. 県老連の基金の現状
5. 県老連の収支の改善努力の実施
6. 基金運動への協力依頼について
7. 今後の本業の精査と組織の再構築について

☆質疑応答 数件ありました。

「事例発表」

「緑区さわやかクラブ第2・会員増強は…」

県老連理事 納 美恵子氏

「会員増強の秘訣は…」

・友達の友達に友達!!的な感覚の声かけで仲間を増やす方法が的中した感があります。

・体験参加者も即入会となりラッキーでした。

・口コミで楽しかった行事の体験が広まること。

・チラシをみんなで配布し、入会となつた。

・メールでのやり取りが楽しみ。

・老人クラブを抜けない様、努力している。

※和気あいあい、クラブの楽しさ

が伝わる発表会でした。

【講義・実技】

「タオル体操」

埼玉県老人クラブ連合会専任講師 田中道子氏

初めに背のびしましょう!!の掛け声で肩の疲れがほぐれました。体操する時は椅子半分位前に出て姿勢を正しくネ。手首回しから順序よく、かけ声をみんなで出し乍ら、楽しくタオル体操でリラックスしました。

※家でもタオルを側におき、声を出してやっています。田中先生ありがとうございます。

◆総括

県老連常務理事兼事務局長 石山英雄

本日の研修会は盛り沢山の課題があり、お疲れさまでした。基金の件、皆さまからの貴重なご意見頂きありがとうございます。今後検討したいと思えます。

また、女性委員コーラス参加、ありがとうございました。

◆閉会のことば

県老連副会長 関根清一氏

戸田市 石川 みよ子

新任単位クラブ会長研修会

令和6年10月4日、彩の国さいたま芸術劇場映像ホールに於て、約100名の新任単位クラブ会長が参加して開催された。

【開会のことば】

県老連理事 矢島繁太郎氏
 県老連会長 内田まさ子氏

「本日はご多忙の中、新任単位クラブ会長研修会に参加されました皆様ありがとうございます。今回の研修会を参考にクラブ運営にあたって頂きたいと思えます。将来、県老連会長になられる方が、皆さんの中から出て来られることを望みます。」との挨拶でした。

【オープニング】

埼玉県老人クラブ連合会女性委員の有志による、コーラス「未来へ」「サライ」です。(13名出場) 女性委員は、大変緊張し、終って拍手をいただいた時、ホッとしました。

【講演】

「魅力ある老人クラブとは」

県老連主幹 椎名久美子
 令和6年版老人クラブリーダー必携を参照し老人クラブのメインテーマ「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」を基本として講演して頂きました。老人クラブとは、地域を基盤とする高齢者の自主組織です。国・県・市町村・単位クラブとなり、国の老人福祉法で守られている。

◆老人クラブの魅力(リーダー必携)

- ①地域に新しい仲間ができる。
- ②健康保持、推進になる。
- ③知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができる。
- ④社会活動への参画と貢献ができる。
- ⑤心の安らぎ、充実感が得られる。(新会員への呼びかけに活用して下さい)

◆組織活動は健康長寿の秘訣

(日本老年学的評価研究所)

- 組織活動の有効性を示しています。
- ①人との交流が多いと健康にプラス
 - ②運動は仲間とすると健康にプラス
 - ③サロンへの参加は健康にプラス
 - ④笑いのある生活が健康にプラス
 - ⑤地域組織への参加は健康にプラス
 - ⑥地域で役割を担って長生きしよう
- ※質疑応答

活発なご意見・ご質問が次々とあり、関心の深さが感じられる講演会でした。

【講義・実技】

「タオル体操」
 全国老人クラブ連合会

健康づくり推進員
 田中道子氏



タオルを使って楽しく運動しましょう。

先ず大きな声を出しましょう。

「トカステラ一番電話は二番、三時のおやつは文明堂!!」の曲を使った、レクリエーションで笑いを誘いました。リラックスした所でタオル体操です。手首から始まり、上下、斜め、足回り、胴回り、首回り、背筋、腹筋、肩関節、深呼吸で、いい汗をかきました。

【総括】

県老連副会長 矢部利夫氏
 皆さん長時間お疲れさまでした。椎名主幹の話と「リーダー必携」をお帰り後もう一度よく読んで下さい。老人クラブをよく理解して下さい。前の会長さんから預ったタスキを次へとつなげて下さい。

【閉会のことば】

県老連理事 佐藤勝男氏
 長時間にわたり、研修会に参加して下さいありがとうございます。会長は組織をまとめ、目標に向かって前進しましょう。お疲れさまでした。

戸田市 石川 みよ子

令和6年度

女性リーダー日帰り研修会

県老連女性委員会は9月17日(火)、市町村老連の女性リーダー25名の参加を得て、標記研修会を行った。今回の研修会は、「東老連「会員増強及び友愛活動」の講演を目的とし、併せて今話題の豊洲千客万来の散策・日本橋での食事・浅草での買い物です。

大宮駅発9時の貸し切りバスに乗り、まずは豊洲へ。築地市場から移転し、新しく、広く、より衛生的に変貌した豊洲市場と豊洲千客万来は魅力的で、1時間の散策は、物珍しさもありましてとても短く感じました。

そして日本橋で和食の昼食では、皆さん笑顔に溢れていました。



◆東京都老人クラブ連合会講演

○会場

TKPスター貸会議室浅草
東京都台東区花川戸1の3の2
井門浅草ビル5階

◆講師

東京都老人クラブ連合会
吉井栄一郎 事務局長



○テーマ

東老連における会員増強と友愛活動

○講演に先立ち、石川みよ子県老連女性委員長の挨拶。

コロナ禍後の老人クラブは課題が沢山あります。私共は、みんなで楽しいクラブを願っています。本日の研修が私達のクラブの発展

に役立ち、意義ある研修となる事を期待しています。

○全員で自己紹介を行った。

○次いで吉井講師より1時間、別添資料を基に次の講演を頂いた。

- 1) 東老連概要
- 2) 老人クラブ及び会員数の推移
- 3) 令和6年度東老連事業計画
- 4) 同 事業体系
- 5) 東老連加入促進運動計画
「令和6年から8年度」
- 6) 加入促進の連携メニュー
- 7) 老人クラブの活性化
- 8) 高齢者の見守りガイドブック
概説
- 9) 友愛実践活動助成事業



講演後、質疑・応答、講演の総括があり、実りある研修でした。

参加者は浅草でお買物を楽しみ、バスは16時に大宮駅に帰着し、令和6年度女性リーダー日帰り研修会は無事終了しました。

さいたま市 納 美恵子

令和6年度女性リーダー交流研修会

菊日和の11月15日、令和6年度女性リーダー交流研修会が開催されました。

開会宣言の後、内田まさ子会長のいつもながらの爽やかなご挨拶を頂きました。次に、石川みよ子女性委員長の会員増強、今後の運動方針についての挨拶。続いて石山英雄事務局長からは、交流研修会が久々に開催されたことを嬉し



く思うといった挨拶がありました。講演では、「仲間を増やそうプラン」年間一単位クラブ純増二名以上の運動指針についての説明があり、「会員増強の手引き」を基に具体的な推進方策のお話しを石山事務局長から頂きました。講演



の最後には会員の六割が女性であるため、女性パワーの活用を生かし情報交換や提供を積極的に行い推進を図り、更に解散クラブへのサポート作りを県老連と共に進めて参りましょうとの講演がありました。

した。

次いで、「さいたま市緑区さわやかクラブ第2の会員増強について」、パワーポイントを通して、納理事より事例発表を頂きました。機会あるごとにチラシを配り、公園等にて入会イベントに同伴する機会を設け、その甲斐あって入会者が増えたとお話を頂きました。

続いて県老連専任講師・田中道子先生の実技「健康体操」タオル体操があり、会場が一体となり、身体の隅々までさわやかな気分になり終了時には二、三才若返った気分と笑顔で終了となりました。

最後に県老連理事・瀧澤啓次理事の総括では、仲間をふやすことに女性パワーを結集し、楽しく会員増強を行きましょう。と話されました。岡野敏伊女性副委員長の閉会の挨拶で終了となりました。

越谷市 清水 絹代



令和6年度
健康づくり大学 入学式

令和6年8月27日(火)

「健康づくり大学入学式」が狭山市狭山市民交流センター。コミュニティセンターで、入学生48名の出席で開催された。

◎入学式



司会は県老連事務局の椎名久美子主幹が担当。開会の言葉は、小林松十郎県老連副会長。続いて、内田まさ子学長の挨拶。



続いて主催の地元の狭山市の吉田敦副市長の挨拶。
次に中嶋きく江狭山市老連会長（県老連副会長）の挨拶があった。

●祝電の披露

「全老連会長」「埼玉県福祉部長」からの祝電を、石山英雄県老連事務局長が披露。



●学生代表の言葉

瀧澤啓次県老連理事が入学生を代表して、講義に取り組む強い決意を表明された。



◎閉会のことば

矢島繁太郎県老連理事より閉会のことばがあった。



●記念撮影

全員が笑顔で撮影を完了。



●オリエンテーション

椎名主幹より説明。

- ① 事業日程の説明
- ② 不老荘への送迎バス利用の注意事項
- ③ 6班のグループ分け
- ④ 班長の選出

- 1班 阿部 研也 [狭山市]
- 2班 小島 尉邦 [狭山市]
- 3班 矢島繁太郎 [三芳町]
- 4班 後藤 剛宏 [狭山市]
- 5班 瀧澤 啓次 [入間市]
- 6班 渡辺 充 [さいたま市]

⑤ 正副学生委員長の選出



委員長
小島尉邦 (狭山市)



副委員長
渡辺 充
(さいたま市)

川越市 小林 松十郎

第53回全国老人クラブ大会 神奈川県で開催！

のばそつ！健康寿命、担おう！地域づくりを

令和6年11月20日～21日にかけて、神奈川県民ホールにおいて「第53回全国老人クラブ大会」が開催されました。

全国の老人クラブ関係者1、200名が集い、熱心に活動発表や記念講演に耳を傾けていました。

【活動発表（11月20日）】

一日目は、地元の神奈川県から二団体と奈良県からの一団体の、計三団体が発表されました。

テーマは「地域の仲間と取り組む老人クラブ活動」で、地域の多様な関係者とともに取り組むクラブ活動についての発表がありました。

それぞれの発表の概要を紹介すると、柄沢北部喜楽会の大野副会長の発表は、高齢者の居場所づくりの取り組みでした。以前、埼玉



発表者（奥から）
 柄沢北部喜楽会 副会長 大野美紀 氏（神奈川県）
 川崎区元木1・2町内会老人会百々世会 会長 飯島元和 氏（川崎市）
 鹿ノ台北桜美会 会長 川村喜紀 氏（奈良県）

県に視察に行った際、自宅を開放して高齢者の居場所づくりを行っている団体に出会い、自分のクラブでも実践してみたいと考えたことがきっかけでした。運営費の工面といった課題がありました。運営費のみずほ教育福祉財団の助成を得られたことで「にこにこデイ」の立ち上げが実現したということです。

川崎区の飯島会長の発表は、地域の一人暮らし高齢者の孤立や健康面といった課題に対して、地域包括支援センターと協力して、よろず相談会を実施したり、声かけ、安否確認をしているということでした。鹿ノ台北桜美会の川村会長からは、会員の減少が続いていた同クラブを、自治会の協力を得て、いきいき百歳体操、サロンの立ち上げなどを次々と始め、入会者の拡大に繋がっていったというものでした。いずれの発表も地域の高齢者に関わる課題に対して、地域の専門機関や団体と協力して問題解決に取り組んでいるといった内容でした。

【講演・式典（11月21日）】

二日目は、ビッグバンドジャズ（演奏：コン・アミーゴス）から始まり、次いで神奈川県立保健福祉大学 中村丁次 名誉教授による「健康寿命の延伸と栄養・食事」をテーマにした講演が行われました。

式典では、全国老人クラブ連合会会長表彰が行われ、育成功労表彰、優良老人クラブ表彰など全六分野の表彰が行われ、各代表者が受賞をされました。

埼玉県でも、川越市砂長寿会と新座市志あわせ会の2団体が受賞されました。喜びの声などは次号で紹介いたします。

事務局 石山 英雄



式典で挨拶する全老連 村木厚子会長

春日部市いきいきクラブ連合会

会員増強実行委員会を開催

○開催日

令和6年9月3日(火)

○場所

春日部市役所

1階 ひだまりホール

○参加者

会員増強実行委員及び

単位クラブ会長(33名)

○講師

埼玉県老人クラブ連合会

椎名久美子主幹

◆内容

「会員増強実践方策」を中心に講演をしていただいた。

講演は、次の資料を基本に、個々具体的に、分かり易い内容であった。

1 「仲間をふやそうプラン」

↳ 年間1単位クラブ

純増2名以上

2 「会員増強の手引き」

↳ 声かけで

仲間をふやそう!

3 老人クラブ「リーダー必携」

―のばそう!健康寿命、

担おう!地域づくりを―

4 「組織活動は、

健康長寿の秘訣」

老人クラブの

有効性が明らかに

5 「ザシニアシチズンクラブ」

仲間がいるって大切だ

老人クラブ

●実践方策

①勧誘から始めよう

まず先に! 誘いの

言葉を掛けよう

②クラブをPRしよう

地域の活動に積極的

参画して輪を広げよう

③クラブをつくろう

未設置地域にクラブ

を作り、休会クラブ

の復活を

④報告書を作成する

○老人クラブの活動は、「仲間づ

くり」を中心に、「健康づくり」

「地域づくり」「生きがいづくり」

「支え合いづくり」等多彩です。

地域共生社会の実現に向けて、

楽しみ、支え合い、喜びを分か

ち合う仲間がいる場所、それが老人クラブです。

◆講演終了後、10名以上増員した、次の3クラブの会長から、体験発表がありました。

○梅田会(内牧地区)

・梅田会だよりの配布

・体験入会の実施等

○大沼ゆりのき会(豊春地区)

・会員増強委員会を設置

・グラウンドゴルフ等への誘い

○もみじ会(庄和中部地区)

・近隣の退会クラブ会員の誘い

・過去5年間純増2名以上必死

で堅持

春日部市いきいきクラブ連合会

は、クラブ数、会員数共に減少傾向にあるため、9月と3月に「会員増強実行委員会」を開催して、

会員の意識向上に努めている。

春日部市 今村 純雄

春日部市 今村 純雄

編集後記

令和6年度から、県老連の広報委員を拝命致しました。

不慣れではありますが、全力を尽くしますので宜しくお願い致します。

さて、彩愛クラブ埼玉134号は、県老連理事会の報告をはじめ、シルバースポーツ大会、ねんりんピック、市区町村老連会長研修会、女性リーダー日帰り研修会の結果報告等、盛り沢山の内容となりました。

特に、シルバースポーツ大会は、8月8日の真夏の開催となりました。

開会式は、曇っていたものの、昼過ぎには、33度を超える日となりました。

全ての競技が終了し、帰宅途中、日向灘を震源とする地震のニュースを知りました。

翌日には、神奈川県での地震、そして、東北地方での台風による水害等が発生しました。

また、今夏は猛暑日が続きました。

会員の皆様、この異常気象を乗り越えて、遅しい日常生活を過ごしましょう。

春日部市 今村 純雄



「彩愛クラブ埼玉」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

